

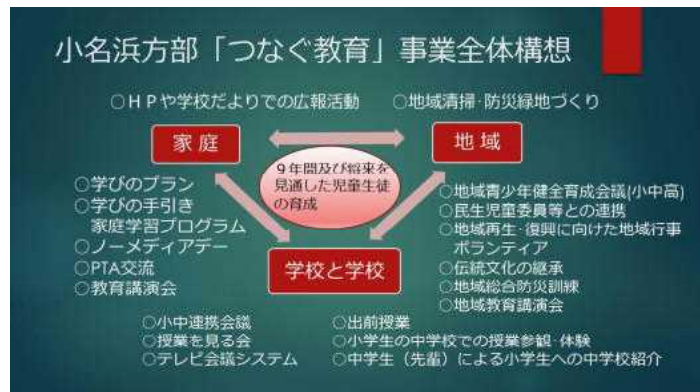
## 平成27年度 ふくしまから はじめよう。学力向上のための 「つなぐ教育」推進事業の推進地域の取組

拠点校名	いわき市立小名浜第一中学校
推進協力校名	いわき市立小名浜第一小学校    いわき市立小名浜第二小学校 いわき市立小名浜西小学校    いわき市立鹿島小学校

### 確かな学力をめざして

9年間を見通し、学校・家庭・地域をつなぐ教育活動を展開し、児童生徒に確かな学力を身に付けることをめざし、本地区では、学力向上に向け次の2点を重点として「つなぐ教育」を展開してきました。

- これまでの小名浜地区共通の取組をもとに、生活習慣、家庭学習習慣の育成を図る。
- 小・中の円滑な接続のため、小・中学校の授業交流や合同での講演会等の行事を設定し、教職員、保護者の意識高揚を図る。



### 主な取組

#### 1 学校と学校をつなぐ

<小名浜方部全体構想図>

##### 事例1 <<小学生と中学校の授業交流>>



<タブレット端末を使った理科の授業(小名浜一中)>



<外部講師による小学校の授業(小名浜一小)>

中学校では、今年度から導入したタブレット端末を利用した理科の授業を公開し、小学校の先生に参観してもらいました。1学年の授業だったことで、小学校の先生方もタブレットで発表する生徒の様子に感心していたようです。

また、小学校では、外部講師を招いた授業を公開していただき、小・中の連携だけでなく、常葉大学教育学部教授の黒澤先生を招き、小・中で算数の指導法について学び合うことができました。

##### 事例2 <<入学説明会での中学生による学校紹介>>

中学校の入学説明会では、親しみやすさとともに、中学校での成長を見てもらうために、生徒会長による学校紹介を実施しました。

学校生活の記録写真に生徒会長が説明を加え、新入生や保護者の前で堂々と紹介し、中学校3年間の成長を示すとともに、新入生に入学への希望を抱かせるものとなりました。

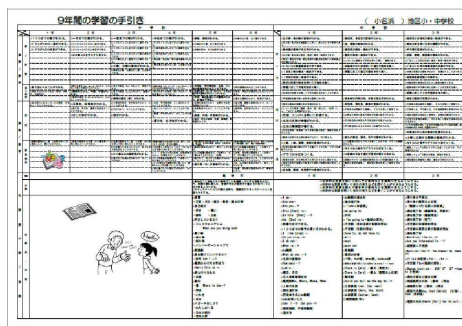


<生徒による学校紹介>

## 2 学校と家庭をつなぐ

### 事例1 <<地区共通の取組>>

これまでも地区共通で取り組んできた「家庭学習プログラム」、「9年間の学習の手引き」については、継続した取組を行いました。また、「生活のきまり」については、方部の生徒指導部会で確認し、各校で徹底を図っています。



9年間の学習の手引きの表。縦軸は学年（1～9年）と学期（1学期、2学期、3学期）で、横軸は教科（国語、算数、理科、社会、英語、音楽、体育、美術、保健体育、家庭科、総合）で構成されている。各セルには具体的な学習目標や指導事項が記載されている。



家庭学習プログラムの表。縦軸は学年（1～9年）と学期（1学期、2学期、3学期）で、横軸は教科（国語、算数、理科、社会、英語、音楽、体育、美術、保健体育、家庭科、総合）で構成されている。各セルには具体的な学習目標や指導事項が記載されている。

< 9年間の学習の手引き >

< 家庭学習プログラム >

### 事例2 <<家庭教育講演会>>

家庭学習の重要性について保護者の理解を深めるため、小名浜市民会館を会場に、ベネッセコーポレーションより講師を招聘し、約160名の保護者に対し、「子どもが伸びる、学力向上のための親の姿勢、関わり」を演題とした講演会を実施しました。豊富な資料から、生活習慣や家庭学習と学力や将来の生活との関連、それに対する親の姿勢や関わりについて話がありました。



< 家庭教育講演会（小名浜市民会館） >



講演会のポスター。タイトル「地域で学ぶ 子どもが伸びる、学力向上のための親の姿勢、関わり 無料講演会」。講師は「学び、生活・関わり」のBalanceを創った子どもの力meets 学力向上。美尾に向けて「変身」先を見てみましょう!!。開催日時：11月6日 13:30～15:00（開場 13:00）。会場：小名浜市民会館。料金：1000円。主催：小名浜第一中学校。

### 【参加者の感想】

- ・「子どもをどう変えるかばかり考えていたが、まずは家庭環境に変化をつけようと思った。」（中2母）
- ・「一番大切なことは、生活習慣だと思った。」（小3母）
- ・「しつけや子どもとの関わりが改めて大事だと思った。」（中1父）
- ・「教員では話しづらいところまで踏み込んだ内容だった。」（教員）

## 3 学校と地域をつなぐ

### 事例1 <<民生児童委員の地区懇談会への参加>>

地区の民生児童委員の懇談会に、今年度から校長（教頭）、事務職員が参加し、学校の様子について伝えるとともに、学校では気づかない地域での様子などを聞かせていただいたり、学校に対する要望や質問などを受ける貴重な機会となりました。日頃はあまり接する機会がありませんが、地域との連携を深めることが実感できる会合でした。

### 事例2 <<地元消防団と連携した避難訓練>>

地区消防団の要望もあり、避難訓練を消防団と連携して実施し、学校、消防署、消防団がそれぞれの役割を分担した訓練となりました。消防団の実演や消防署員の講話などにより、効果的な訓練とすることができました。





< 地元消防団と連携した避難訓練 >

### 成果と課題

これまでの取組の成果を継続し、さらに今回の「つなぐ教育」の成果を生かした取組が課題となります。家庭・地域との連携の中で、学校としての学力向上策を明確にして取り組み、学力の向上を成果として家庭・地域に示すことが重要になると考えています。

# 9年間の学習の手引き

( 小名浜 ) 地区小・中学校

小学校							中学校					
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年			
算数 / 数学	数	○100までの数がわかる。 ○くり上がりのたし算ができる。 ○くり下がりのひき算ができる。	○一万までの数がわかる。 ○2けた+2けたのたし算ができる。 ○3けた-2けたのひき算ができる。 ○かけ算九九をすらすら言える。	○一億までの数がわかる。 ○4けた+4けたまでのたし算ができる。 ○4けた-4けたまでのひき算ができる。 ○かけ算九九を1回使うわり算ができる。	○千兆までの数がわかる。 ○3けた÷3けたまでのわり算ができる。 ○小数の意味がわかる(小数第三位まで)。 ○小数の計算ができる(小数第三位まで)。 ○真分数、仮分数、帯分数の意味がわかる。 ○同分母の分数のたし算、ひき算ができる。	○奇数、偶数がわかる。 ○小数のかけ算、わり算ができる。 ○分数の約分、大小比較ができる。	○分数のかけ算、わり算ができる。	数	○正の数・負の数の意味がわかる。 ○正の数・負の数を数直線上に示し、数の大小を不等号で表す。 ○絶対値の意味や求め方がわかる。 ○正の数・負の数の加法・減法・乗法・除法ができる。 ○加法・乗法の交換、結合則や分配則を用いた四則混合の計算ができる。 ○いろいろな数量関係を文字で表す。	○単項式、多項式の意味がわかる。 ○項、係数の意味がわかる。 ○単項式の除法・乗法ができる。 ○整式の加法・減法ができる。 ○いろいろな事柄を文字式を使って表し、説明できる。 ○加減法や代入法を用いて連立方程式を解く。	○単項式と多項式の乗法・除法ができる。 ○乗法公式を用いた式の展開ができる。 ○平方根の意味がわかる。 ○因数、素数、素因数の意味がわかる。 ○ $\sqrt{\quad}$ をふくんだ式の加法・減法・乗法・除法ができる。 ○ $\sqrt{\quad}$ をふくむ式の四則混合の計算ができる。 ○分母の有理化の意味がわかり、有理化することができる。 ○自然数を素因数に分解する。 ○分配則や乗法公式をもとに因数分解ができる。	
	量と測定	○長さを比べることができる。 ○時計のみかたができる(何時、何時半、何時何分)	○長さの単位(cm, mm, m)がわかり、ものさしで長さを測ることができる。 ○時刻がわかる。午前、午後がわかる。 ○容積の単位(L, dL, mL)がわかり、はかることができる。 ○時間の単位(秒)がわかる。	○長さの単位(km)がわかり、測定ができる。 ○重さの単位(g, kg)がわかり、測定ができる。 ○面積の単位( $\text{cm}^2, \text{m}^2, \text{km}^2, \text{a, ha}$ )がわかり、正方形や長方形の面積を求めることができる。 ○角の大きさの単位(度)がわかり、角度を測ることができる。 ○平均、単位量当たりの意味がわかり、計算ができる。	○三角形、平行四辺形、台形、ひし形の面積を求めることができる。 ○体積の単位( $\text{cm}^3, \text{m}^3$ )がわかり、立方体や直方体の体積を求めることができる。 ○円柱、円錐の体積をもとめることができる。 ○円周率、単位量当たりの意味がわかり、計算ができる。	○円の面積を求めることができる。	○円柱、円錐の体積をもとめることができる。	式	○1次式と数の乗法・除法ができる。 ○1次式の加法・減法ができる。 ○等式の性質や移項を用いて方程式を解く。 ○問題に応じて方程式を作り解く。 ○比例式の性質を利用して文字の値を求めることができる。	○問題に応じて連立方程式を作り解く。 ○関数分解や平方根の考えを用いて2次方程式を解く。 ○問題に応じて2次方程式を作り解く。	○関数分解や平方根の考えを用いて2次方程式を解く。 ○問題に応じて2次方程式を作り解く。	
算数 / 数学	図形	○身の回りにあるいろいろな図形、立体のとちょうがわかる。 ○三角形、四角形がわかる。 ○長方形、正方形、直角三角形をかくことができる。 ○はこの形がわかる。	○二等辺三角形、正三角形がわかり、かくことができる。 ○円がわかり、かくことができる。 ○球がわかる。	○合同の意味がわかり、合同な三角形、四角形がかけられる。 ○正多角形がわかり、かくことができる。 ○垂直、平行がわかり、かくことができる。 ○直方体、立方体がわかる。	○台形、平行四辺形、ひし形がわかり、かくことができる。 ○角についてわかり、かくことができる。 ○正多角形がわかり、かくことができる。 ○直径、円周、円周率がわかる。 ○角柱、円柱の意味、性質、展開図、見取図がわかる。	○合同の意味がわかり、合同な三角形、四角形がかけられる。 ○正多角形がわかり、かくことができる。 ○直径、円周、円周率がわかる。 ○角柱、円柱の意味、性質、展開図、見取図がわかる。	○拡大図、縮図の意味がわかり、かくことができる。 ○対称、点対称がわかり、かくことができる。	図形	○平面図形を線対称・点対称な図形に分ける。 ○図形の移動の種類とその性質がわかる。 ○いろいろな用語(直線、線分、弧、弦など)・記号( $\angle, \perp, \sim$ など)の意味がわかる。 ○定規、コンパスを用いて作図する。 ○立体の名称や特徴がわかる。 ○立体の展開図が書ける。 ○立体の体積、表面積、おうぎ形の弧の長さ、面積の求め方がわかる。	○多角形の内角の和、外角の求め方がわかる。 ○対頂角、同位角、錯角の意味がわかる。 ○三角形の合同条件を理解し、それらを用いて証明する。 ○三角形と比、平行線と比、中点連結定理の意味がわかる。 ○相似な図形の相似比と面積比、体積比の関係がわかる。 ○三平方の定理を理解し、それらを用いて直角三角形の辺の長さを求める。 ○三平方の定理を利用して長方形の対角線の長さや2点間の距離、直方体の対角線の長さや体積、表面積を求める。 ○円周角や中心角の意味や性質がわかる。	○相似な図形の性質がわかる。 ○三角形の相似条件を理解し、それらを用いて証明する。 ○三角形と比、平行線と比、中点連結定理の意味がわかる。 ○相似な図形の相似比と面積比、体積比の関係がわかる。 ○三平方の定理を理解し、それらを用いて直角三角形の辺の長さを求める。 ○三平方の定理を利用して長方形の対角線の長さや2点間の距離、直方体の対角線の長さや体積、表面積を求める。 ○円周角や中心角の意味や性質がわかる。	
	数量関係	○数量の関係をたし算、ひき算を使って式に表わしたり、読むことができる。 	○数量の関係をかけ算、わり算を使って式に表わすことができる。 ○ $\square$ を使って式をつくらたり、あてはまる数を求めることができる。 ○ $\square$ を用いた式の意味、計算順序がわかる。 ○かけ算九九の規則性がわかる。 ○棒グラフの読み方がわかり、かくことができる。	○数量の関係をたし算、ひき算、かけ算を使って式に表わすことができる。 ○ $\square$ を使って式をつくらたり、あてはまる数を求めることができる。 ○ $\square$ を用いた式の意味、計算順序がわかり、計算をすることができる。 ○2つの数量の関係を $\square$ 、 $\square$ を使って、式に表わすことができる。 ○2つの変化する数量を表したり、関係やかわり方を調べることができる。 ○折れ線グラフの読み方がわかり、かくことができる。	○数量の関係を公式の形にまとめ、使うことができる(長方形、正方形の面積)。 ○ $\square$ を使って式をつくらたり、 $\square$ にあてはまる数を求めることができる。 ○ $\square$ を用いた式の意味、計算順序がわかり、計算をすることができる。 ○棒グラフ、円グラフの読み方がわかり、かくことができる。 ○2つの変化する数量を表したり、関係やかわり方を調べることができる。 ○折れ線グラフの読み方がわかり、かくことができる。	○数量の関係を公式の形にまとめ、使うことができる(円の面積、長さ、角柱・円柱の体積)。 ○2つの数量の関係を $x$ 、 $y$ を使って、式に表わすことができる。 ○比例、反比例の意味がわかり、 $x$ 、 $y$ を使って、式に表わすことができる。 ○ $x$ を使って式をつくらたり、 $x$ にあてはまる数を求めることができる。 ○比、比の値の意味がわかり、表すことができる。 ○百分率(%)の意味がわかる。 ○比、比の値の意味がわかり、表すことができる。 ○比例、反比例の意味がわかり、特徴がわかる。	○数量の関係を公式の形にまとめ、使うことができる(円の面積、長さ、角柱・円柱の体積)。 ○2つの数量の関係を $x$ 、 $y$ を使って、式に表わすことができる。 ○比例、反比例の意味がわかり、 $x$ 、 $y$ を使って、式に表わすことができる。 ○ $x$ を使って式をつくらたり、 $x$ にあてはまる数を求めることができる。 ○比、比の値の意味がわかり、表すことができる。 ○百分率(%)の意味がわかる。 ○比、比の値の意味がわかり、表すことができる。 ○比例、反比例の意味がわかり、特徴がわかる。	○数量の関係を公式の形にまとめ、使うことができる(円の面積、長さ、角柱・円柱の体積)。 ○2つの数量の関係を $x$ 、 $y$ を使って、式に表わすことができる。 ○比例、反比例の意味がわかり、 $x$ 、 $y$ を使って、式に表わすことができる。 ○ $x$ を使って式をつくらたり、 $x$ にあてはまる数を求めることができる。 ○比、比の値の意味がわかり、表すことができる。 ○百分率(%)の意味がわかる。 ○比、比の値の意味がわかり、表すことができる。 ○比例、反比例の意味がわかり、特徴がわかる。	数	○関数や比例や反比例の意味がわかり、式で表せる。 ○ $x$ 軸、 $y$ 軸、座標、変域の意味がわかる。 ○比例や反比例の表やグラフを書くことができ、グラフの特徴がわかる。 ○グラフから式をつくる。 ○問題を比例、反比例の見方や考え方を生かし解決する。 ○度数の分布や範囲と代表値から資料の特徴を読み取ることができる。 ○近似値、誤差、有効数字の意味がわかる。	○変化の割合、傾き、切片の意味がわかる。 ○1次関数の式からグラフを書くことができ、グラフの特徴がわかる。 ○与えられた条件やグラフから式をつくる。 ○関数 $y = ax^2$ の式からグラフを書くことができ、グラフの特徴がわかる。 ○2直線の交点を連立方程式の解から求める。 ○問題の中から1次関数の関係をみつけ問題を解決する。 ○確率の意味を理解し、樹形図や表を利用して確率を求める。 ○関数や比例や反比例の意味がわかり、式で表せる。	○2乗に比例する関数の意味がわかる。 ○与えられた条件やグラフから式をつくる。 ○関数 $y = ax^2$ の式からグラフを書くことができ、グラフの特徴がわかる。 ○関数 $y = ax^2$ の変化の割合、変域を求める。 ○標本調査の母集団と標本、調査の方法がわかる。
外国語	学年	高 学 年					1年	2年	3年			
	目標	○自分のことを伝えたり相手のことを理解したりする活動をおとして、英語に慣れ親しみ、言葉や文化の面白さや豊かさに気づくことができるようにする。 ○コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。					○初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 ○初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。 ○初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。 ○初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。					
外国語	活動例	 					<ul style="list-style-type: none"> <li>○I am...</li> <li>○You are...</li> <li>○Are you...?</li> <li>○This [That] is...</li> <li>○Is this [that] ...?</li> <li>○He [She] is...</li> <li>○辞書引きができる。</li> <li>○100までの数字の言い方がわかる。</li> <li>○I like [play] ...</li> <li>○Do you play...?</li> <li>○I do not...</li> <li>○What is...?</li> <li>○be動詞</li> <li>○What do you ...?</li> <li>○名詞の複数形</li> <li>○How many...?</li> <li>○Let's...</li> <li>○曜日、月日</li> <li>○三人称単数現在形</li> <li>○疑問詞Who, Where, Whose, When</li> <li>○人称代名詞</li> <li>○現在進行形</li> <li>○否定命令文とbe動詞</li> <li>○canを用いた文</li> <li>○Can I...? Can you...?</li> <li>○規則動詞、不規則動詞</li> <li>○過去形</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○be動詞の過去形</li> <li>○過去進行形</li> <li>○「look+形容詞」</li> <li>○be going to</li> <li>○SVOC</li> <li>○「be going to+動詞の原形」</li> <li>○不定詞(目的を表す副詞的用法)</li> <li>○不定詞(名詞的用法)</li> <li>○have to, do not have to</li> <li>○will</li> <li>○must</li> <li>○must not</li> <li>○助動詞</li> <li>○電話の応答</li> <li>○if節、that節、when節、because節</li> <li>○病院の診察で用いられるWhat's wrong? - I have</li> <li>○There is [are] ...構文(肯定文)</li> <li>○There is [are] ...構文(疑問文と応答)</li> <li>○動名詞</li> <li>○Could you tell me the way to...?</li> <li>○間接疑問文の形 ○意味 ○用法</li> <li>○比較表現 (-er, the, -est)</li> <li>○比較表現 (more, the, most)</li> <li>○比較表現 (better, best)</li> <li>○疑問動詞 Why</li> </ul>		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○復習</li> <li>・天気・月日・曜日・季節・誕生日等</li> <li>○自己紹介</li> <li>・好き ・嫌い</li> <li>・教科 ・出身</li> <li>○何をしているの?</li> <li>・ジェスチャーゲーム</li> <li>What are you doing now?</li> <li>○買い物</li> <li>・食べ物</li> <li>・飲み物</li> <li>・ハンバーガーショップで</li> <li>○英語劇</li> <li>○窓を開けていいですか?</li> <li>・許可 Can I ~?</li> <li>○電話のかけ方を学ぼう</li> <li>・Hello This is ~.</li> <li>○身に付けるもの</li> <li>・衣服</li> <li>○案内</li> <li>・道 Where is the~?</li> <li>・学校</li> <li>・いわき</li> <li>・日本</li> <li>○スピーチをしよう</li> <li>・わたしの一日</li> <li>・日本の紹介</li> <li>・将来の夢</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>○受け身の平叙文</li> <li>○受け身の疑問文と応答</li> <li>○「動詞+(代)名詞+形容詞」</li> <li>○現在完了形(継続用法、平叙文)</li> <li>○現在完了形(継続用法)</li> <li>○現在完了形(完了)</li> <li>○不定詞の形容詞的用法</li> <li>○不定詞の原因を表す副詞的用法</li> <li>○現在完了形</li> <li>○Would you like to...?</li> <li>○Are you interested in ...?</li> <li>○疑問詞+不定詞</li> <li>○Would you like...? - Yes, please/ No, thank you</li> <li>○It is+形容詞+for... -to ~</li> <li>○不定詞「to+動詞の原形」</li> <li>○Change train at... SV0' 0" (0" =how to 不定詞)</li> <li>○現在分詞及び過去分詞</li> <li>○間接疑問文の形 ○意味 ○用法</li> <li>○接触節の形 ○意味 ○用法</li> <li>○関係代名詞who, that [which] (主格)、that (目的格)</li> <li>○電話の対応でwant [tell] her to call...</li> </ul>					

# 小名浜一中学区 家庭学習プログラム

いわき市立鹿島小学校

**教育目標** 「いのち」を大切にする 心豊かな かしまっ子の育成  
 ◎からだも心もたくましい子 ◎しんせつで思いやりのある子 ◎まじめに学び考える子

## 〔家庭学習のきまり〕

※ 小名浜一中学区の小・中学校が共通で実施しています。ご理解・ご協力をお願いします。

- 家庭学習の時間は、各学年ごとの決められた時間。(中学校は2時間程度を目安に、テスト期間等には更にごがんばりましょう。)
- 家庭学習の時間帯を決めて、習慣化できるように計画的に進める。
- テレビは消して、集中して学習に取り組む。(家族全員で学習環境づくりに協力しましょう!!)
- 学年に応じて、授業のノートとは別に、自主学習ノートやテキスト等を準備する。
- 学年のめあてに応じて、音読は毎日行う。(小学校) ※ 復習と宿題は、必ず毎日行う。(中学校)

**家族の協力をお願いします!**



(音 読)〔低〕国語の教科書で学習しているところを繰り返し読む。口を大きく開けて、すらすらと音読する。  
 〔中〕国語の教科書を中心に読む。内容の中心や、場面の様子がよくわかるように音読する。  
 〔高〕国語を中心に他教科の教科書や本も読む。自分の思いや考えが伝わるように工夫して読む。

学年	時間	学 習 内 容 (例)	※ 励まし・賞賛の声かけ
1学年	20分以上	音読 (家族の前)   計算カード (計時してもらう)   自主学習	<b>家族の協力</b> ○ 家の人の前で音読や計算をさせる。 ○ 宿題に目を通す。 ○ 戻ってきたプリントに目を通す。
2学年		音読 (家族の前)   宿 題 (家族の前)   自主学習	
3学年	40分以上	音読 (家族の前)   宿 題   自主学習	<b>家族の協力</b> ○ 音読を聞く。 ○ 宿題の解答の確認をする。 ○ 家庭学習カードにチェックをする。
4学年		音読 (家族の前)   宿 題   自主学習	
5学年	60分以上	音読 (家族の前)   宿 題 国語・算数   自主学習	<b>家族の協力</b> ○ 音読を聞く。 ○ テストにサインと一言を書く。 ○ 声かけと確認をする。
6学年		音読 (家族の前)   宿 題 国語・算数・社会   自主学習	
中学生	2時間程度	宿題・復習   予習・自主学習   +α	

## 〔自主学習の例〕

- 読 書
- 日記
- 視 写
- 意味調べ
- 暗 唱
- 漢字練習
- 計算練習
- 問題集
- 調べ学習
- ノート整理
- その他(予習・復習など)